



がんばろう！ 日本の宇宙

日本ロケット協会55周年記念総会
「宇宙の復興支援を考える」
中野不二男

2011年12月5日 フロラシオン青山

日本の宇宙開発は このままでいいのか



“官”詰めの宇宙開発



どうして日本社会は 新しいことを受け入れないのか

PC導入の遅れ: キーボード・アレルギーによりMicrosoftの支配下に

新エネルギー導入の遅れ: 自主技術がありながらも国内市場は不足

環境技術導入の遅れ: 省エネ・エコ技術を活かせず、ただの“ケチ”に

Smartphone導入の遅れ: ガラパゴス・ケータイの崩壊

いつも徳俵に足をかけてこられ、「結果」
を先送りし続けてきた。

その結果、「結果」の先送りには負(マイ
ナスあるいは危機)のイメージが失われ
てしまった。
「結果」の先送りは、常態と化してしまった。



<http://ameblo.jp/tekkkan/>相撲あれやこれや



出典: Virgin Galactic 社

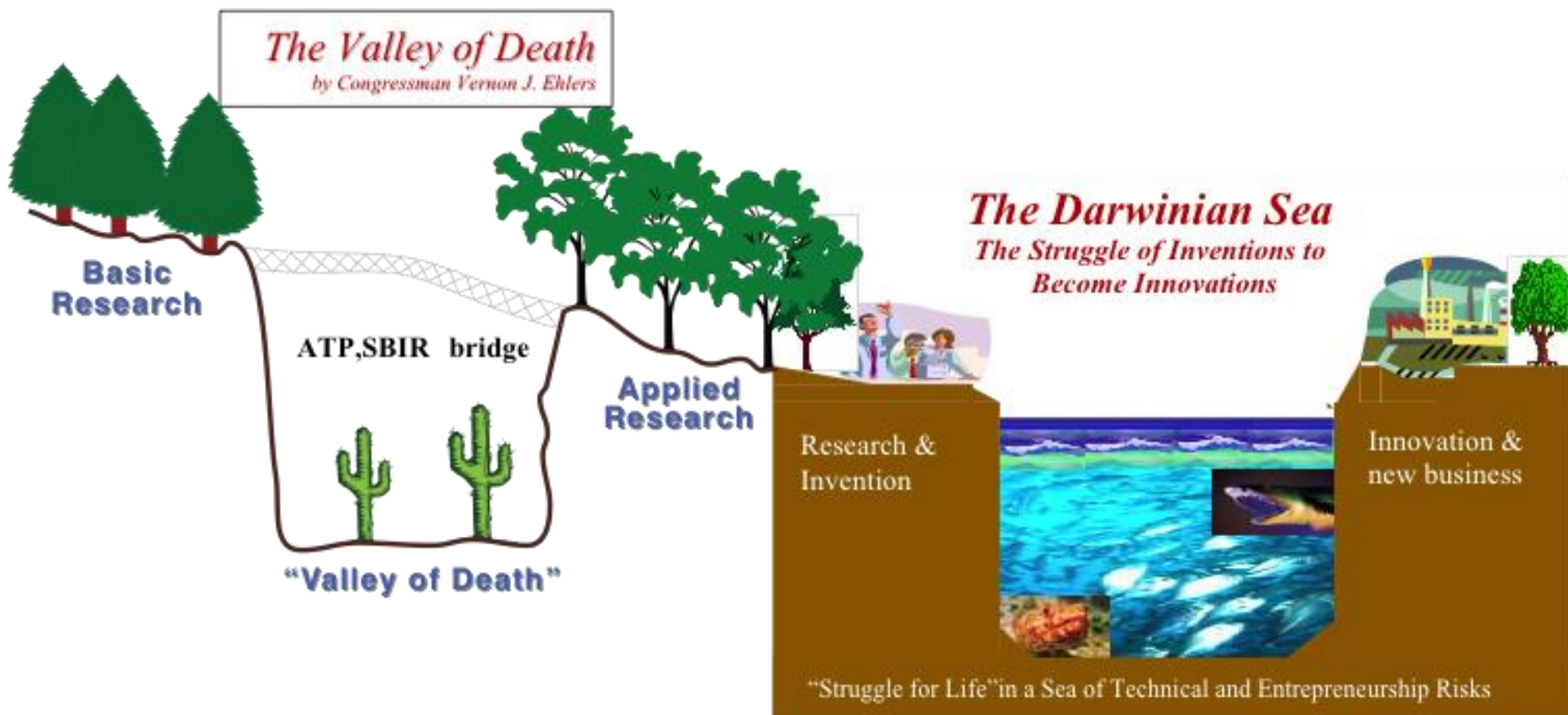




新しい動きは出てこないのか

Crossing the Valley of Death only to Arrive in the Waters of the Darwinian Sea

基礎研究から応用研究、実証実験を通じた実用化への橋渡しが重要



出典: "Unlocking the Future" (1998)、L. Branscomb 議会証言 (2001)、C. Weissner OECD 講演資料

by Prof. Lewis Branscomb

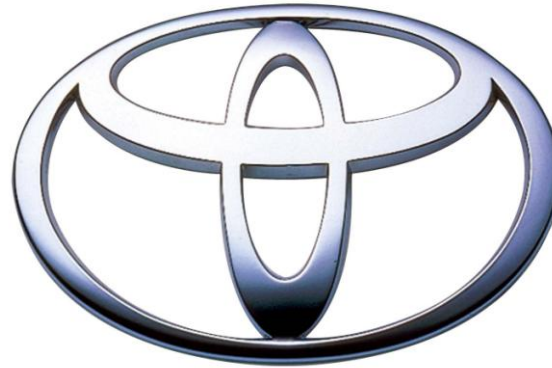
「死の谷」を超える“橋”とは

- 実用化に結びつく技術
- 実用化に結びつく投資
- 成功事例（事業は「1番である必要はない」）

宇宙丸プロジェクトは宇宙丸を実現させる為のスポンサーを募集しています。日本で唯一の短段式垂直再使用型ロケットによる宇宙旅行事業に興味を持たれた方は是非ご連絡下さい。

宇宙旅行事業が実現すれば数兆円規模の宇宙産業が誕生します。

なぜ 自ら動き出さないのか



= SoftBank

楽天



Crossing the Valley of Death only to Arrive in the Waters of the Darwinian Sea

基礎研究から応用研究、実証実験を通した実用化への橋渡しが重要



The Valley of Death
by Congressman Vernon J. Ehlers



Basic Research

ATP, SBIR bridge

Applied Research

"Valley of Death"

The Darwinian Sea
The Struggle of Inventions to
Become Innovations

Research &
Invention

Innovation &
new business

"Struggle for Life" in a Sea of Technical and Entrepreneurship Risks

by Prof. Lewis Branscomb

出典: "Unlocking the Future" (1998)、L. Branscomb 議会証言 (2001)、C. Weissner CEO 講演資料、Virgin Galactic 社、宇宙丸

宇宙観光
Space Ship
有人宇宙旅行
スペースポート
Sub-Orbital

新製品

みんな缶
宇宙

NEW!

「宇宙の官詰め」
だけが宇宙ではない

「宇宙のみんな缶」
も積極的に考えるべきだ

ビジネスとしての宇宙旅行のマネジメントを学ぶために
人文系院生とJAXA-OBを送る

SpaceShip-2の技術と運用を学ぶために工学系院生とJAXA-OBを送る

SpaceShip-2J
(Japan-version)を
米国内で製造

宇宙旅行の
実現に向けた
シナリオ

(外圧に期待)

UNI QLO
SoftBank
楽R天
AJI NO MOTO
スポンサー探し



Virgin
Galactic を
日本に誘致



Virgin Galactic JAPANを設立
SpaceShip-2Jの運用開始



大樹町に
Spaceport
開設



(株)宇宙観光を設立
宇宙丸の開発



(株)宇宙観光
宇宙丸の運用開始

新会社
設立

いつまでも動き出さないと・・・

「宇宙」という空気が、しだいに希薄になる

「宇宙旅行」は、“海外ニュース”と化す

「宇宙という“官”詰め」の
フタが開かなくなる

「宇宙」をめざす人材の減少

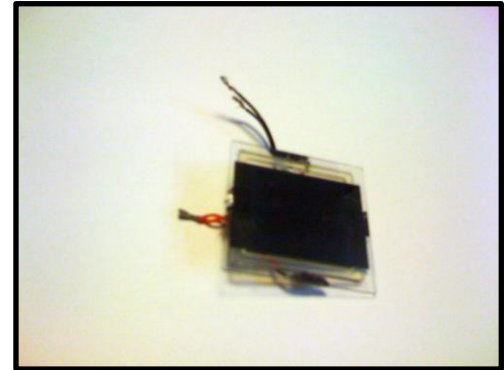


日本の航空宇宙は、 技術保存委員会と化すのか・・・

社会的“空気”の重要性

有機ELを例に

- 面発光
- 通常は透明
- プラスチック基板(1mm以下)
- 大面積化



有機EL: 提供
山形大学・城戸淳二教授

政治家の空気
メディアの空気

Nakano Science & Technology Laboratory Co.Ltd.



株式会社 中野科研

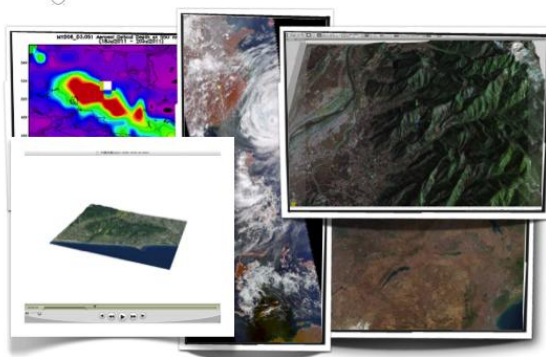
〒350-1255

埼玉県日高市 武蔵台1-46-9

e-mail : naknet1@me.com

mobile phone : 090-9146-3198

telephone : 042-982-1256



宇宙人文学という新しい視野

中野科研は、宇宙人文学という分野の開発に取り組んでいます。宇宙人文学とは、衛星データをはじめとする宇宙技術と人文科学分野の融合をめざした新しい領域です。たとえば「ALOS（だいち）」という衛星のデータを利用すると、地上の起伏に富んだ複雑な地形を、コンピュータの画面上に3次元の画像として構築できます。真上からはもちろんのこと、東西南北からの鳥瞰図的な視点で観察することも容易になります。さらに遺跡にかんして蓄積しているこれまでの資料、風土記や古文書の記述、そして衛星観測による近赤外線や熱赤外線のデータを融合すると、遺跡と遺跡を結ぶ古代道路遺構の痕跡や地理的な条件なども、マクロとミクロの視点から考察できます。これまででは見えなかった多くの歴史的な出来事が、科学的な分析によって浮かび上がってくる可能性はどんどんひろがっています。これからの調査研究や教育の現場に、宇宙人文学という新しい領域をとりいれてみませんか。

業務内容

- 共同研究
- 研究支援
- 衛星データの解析・加工
- 科学・技術分野の講演
- 教育機関等での実験教室主催
- 出版・映像データ製作

ver.001



だいじょうぶか！ 日本の宇宙

日本ロケット協会55周年記念総会
「宇宙の復興支援を考える」
中野不二男

2011年12月5日 フロラシオン青山